

令和3年度第1四半期景況調査〔4月～6月期〕報告

由布市商工会

I : 調査要領

1. 調査概要

- 1) 調査期間 : 令和3年4月～令和3年6月
- 2) 対象企業数 : 由布市商工会管内13事業所 (6月に実施)
- 3) 調査方法 : 経営指導員によるヒアリング調査

2. ヒアリング事業所の地区別内訳

地区別	庄内	挾間	湯布院
事業所数	3	5	5

3. 業種別内訳

業種	製造	建設	小売	サービス
事業所数	2	2	4	5

※調査対象事業所数が少ないため、全事業所での報告とします。

内容はD I 値のみ報告いたします。

※D I (前年同期比) は、売上額(完成工事額)・客数(受注工事額)・資金繰り・採算について増加(上昇、好転)事業所から減少(低下・悪化)の事業所割合を差し引いた値です。

(+の場合は「好転」、▲の場合は「悪化」となります。

II : 管内景況判断

1. 令和3年4月～6月調査分

1) 令和3年4月～6月景況判断

項目	売上高 完成工事高	客数 受注工事数	資金繰り	採算
景況判断				
D I 値	▲75.0%	▲75.0%	▲45.5%	▲90.9%

2) 令和3年7月～9月の景況見通し

項目	売上高 完成工事高	客数 受注工事数	資金繰り	採算	業況
景況判断					
D I 値	▲45.5%	▲66.7%	▲54.5%	▲41.7%	▲63.6%

3) 設備投資計画

① 設備投資計画の有無

設備投資計画	すでに実施	ある	なし
事業所数	1	1	11

② 設備投資内容

建物及び付帯施設

4) 現在直面している経営上の課題：上位3件（複数回答あり）

順位	問題点	事業所数
1位	利用者ニーズの変化への対応	10
2位	需要の停滞	4
3位	事業資金の借入難	3

5) 業況判断の背景として事業所が感じていること

仕入に苦勞している。問屋さんが営業を辞めていくので困っている。大きい店の方が問屋さんより安くなっているので仕入に困っている。年金生活者が多くて掛けが多くて困る。
材料が値上がりしている。工事代に上乘せするのは難しい。また、コロナで仕事が少なくならないかが心配。
コロナが身近になり、客足がばったり減少した。
景気が良い時は新車に流れ、景気が悪い時は中古車に流れるという傾向が見られる自動車業界において、景気が悪い時には底堅いメリットもあります。中古車業界の動向は主に新車販売の動向に左右されると思います。
これから高齢化が進んでいくので、営業のあり方を変えていくこと。
感染者の増加に伴い観光客が減少している。見通しが立たない中で事業を継続することに不安を感じる。
昨年度と比較して、更に顧客が減少している。金融機関からの借入で資金繰りを維持しているが返済負担は大きい。
GW中は顧客が入っていたが、それ以降は感染者が増えたため大きく売上が減少した。
地元旅館からの需要が停滞した。直接観光業に従事しているわけではないが、取引先の景気悪化による間接的な影響を受けている。
大手スーパーの売上は比較的維持しているが、サービスエリアや駅ビルの卸売が減少している。人件費など